

日本科学史学会会員により行われている科学史・技術史教育に関する アンケート調査へのご協力のお願い

日本科学史学会では、昨年度(2008年度)に、大学等で開講されている科学史・技術史関係科目に関するアンケート調査を実施し、会員による科学史・技術史教育活動の一端を明らかにしました。本年度(2009年度)は、調査対象とする教育活動の範囲をより広くした上でこの調査を継続することにいたしました。科学史・技術史教育に対する社会的ニーズを幅広く把握するとともに、会員の皆様の関心やニーズを把握することがねらいです。現在、学会の将来構想が検討されておりますが、このアンケートの結果は、その議論のための基礎資料としても活用されることが期待されます。

2009年度に初等・中等・高等教育機関や社会教育の場において科学史・技術史関係の教育(講演等の普及活動を含む)を行った(あるいは行う予定の)会員の皆様に下記の要領で情報をご提供いただきたく、ここにお願い申し上げます。集まりました情報は、昨年度同様、概要を『科学史通信』で、また詳細を学会のウェブサイト等で公開させていただく予定です。

2009年11月 大学等で開講されている科学史・技術史関係科目に関するアンケート調査委員会
委員長 河村 豊

記

1. 調査対象となる教育活動

今回の調査の対象となる教育活動は、2009年度に初等・中等・高等教育機関または社会教育の場で行った(あるいは行う予定の)科学史・技術史(数学史・建築史・土木史・医学史等を含む)を内容とする教育活動です。

科学史・技術史的内容をその一部に含むものであれば、対象とします。「教育活動」は、その意味を広く捉え、講義(集中講義を含む)等に加えて、クラブ活動等の指導、公開講座・講演会・見学会等での講演やガイド等も含まれます。隔年開講その他の事情により、今年度は実施しないが来年度以降に実施予定があるものも対象とします(その旨を「科目名」欄に注記してください)。

2. 提供いただく情報

今回の調査でご提供いただきたい情報は、大きく分けて以下の3項目です。

- (1) 回答者ご自身について(氏名, 所属機関, 職名)
- (2) 2009年度に行った(あるいは行う予定の)教育活動について
 - (A) 大学等の場合(機関名, 科目名, 受講対象者の所属, 科学史・技術史的内容の割合)
 - (B) それ以外の場合(活動の場, 教育活動の名称, 参加者の属性, 教育活動の簡単な説明)
- (3) 科学史・技術史教育の現状や問題点に関する所感, 学会への要望など(自由記述)

※ 情報の非公開を希望される方は, その旨をお知らせください。(統計的処理において活用させていただきます。)

3. 情報提供方法

情報は、下記のいずれかの方法でご提供ください。

- 1) ウェブ入力: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jshs/index-j.html> (日本科学史学会ウェブサイト)
- 2) ウェブより回答用紙をダウンロードし、送付する。
 - ① 添付メールで送る: tanakahi@cck.dendai.ac.jp (田中浩朗: 調査担当者)
※本調査に関するご質問・お問合せもこちらへ。
 - ② 郵送する: 〒101-8457 東京都千代田区神田錦町2-2 東京電機大学工学部 田中浩朗

4. 締切: 2010年1月31日(日)

以上